

国産ジビエ認証施設（第8号）「長野市ジビエ加工センター」の概要

【取組の概要】

- 衛生的な施設管理、ジビエカーや小型保冷車の活用による収集体制の整備、ジビエ商品管理システムの導入により、安全で良質なジビエの安定供給を図り、農業被害軽減と地域活性化に寄与

【食肉処理施設（長野市ジビエ加工センター）の概要】

- 所在地：長野県長野市中条住良木1558番地2
- 事業者名：長野市
- 代表者名：所長 山崎 千裕
- 整備時期：平成30年度（農水省鳥獣被害防止総合対策交付金（ジビエ倍増モデル整備事業）を活用し施設を整備）
- 取扱獣種：ニホンジカ及びイノシシ
- 目標年間処理頭数：1,000頭（ニホンジカ530頭、イノシシ470頭）（令和元年度）
- 従事者数：5名（長野市職員）
- 主な販路：事業者を主な対象として販売予定。



<長野市ジビエ加工センター>

【特徴的な取組】

- 鳥獣被害対策実施隊員のうち、止め刺しが可能な者をジビエ協力隊として登録することにより、効率的な止め刺しと同センターへの迅速な個体搬入を実現。
- 市内にジビエカー（移動式解体処理車）1台、小型保冷車7台を配備し、同センターへの個体収集体制を整備。
- 「ジビエ商品管理システム」を活用し、識別番号による個体管理を実施することにより、受入れ・加工・販売までのトレーサビリティの確保及び在庫管理を実現。



<導入したジビエカー（移動式解体処理車）>



<7台配備した小型保冷車>



<徹底した衛生管理による枝肉処理>



<ジビエ協力隊を対象とした研修会>